

環境福祉部会

〔視察期間〕平成30年7月10日-12日

01 山口県周南市「しゅうなんスマートライフチャレンジについて」

視察概要

- ・事業の概要
- ・事業の経緯と取組状況
- ・事業の今後の課題や展開

参考と なった点

この事業は、企業・事業所・関係団体等と連携して取り組んでおり、各世代ごとに取組む項目を決めることで、参加者も年々増加している。
また、検診受診率向上のために「市内共通商品券」をプレゼントしたり、オリジナルの「お腹へったんこ体操」を考案してYouTubeでPRするなど、周知にも力をいれている。



環境福祉部会員

02 福岡県北九州市「北九州市エコタウンセンターについて」

視察概要

- ・事業の概要
- ・事業の経緯と取組状況
- ・事業の今後の課題や展開

参考と なった点

北九州市は、長年におたる「ものづくりのまち」としての産業基盤や技術力、公害克服の過程で培われた人材・技術・ノウハウ等を活かし、資源循環型社会の構築を図るため、「環境保全政策」「産業振興」を統合した独自の地域政策として1997年7月に国から認定を受けた後、「北九州エコタウン事業」を推進している。



エコタウン（北九州市）

03 大阪府堺市「ダブルケア事業について」

視察概要

- ・事業の概要
- ・事業の経緯と取組状況
- ・事業の今後の課題や展開

参考と なった点

事業の実施にあたり、18歳以上の子ども・孫を持つ保護者と要介護等認定等調査申請者を対象に現状とニーズ把握を行い、その回答を参考に、平成28年10月に各区の基幹型包括支援センターに相談窓口を設置し、子育て支援センター事業や放課後児童対策事業、ハローワーク事業などとの連携体制が構築された。

産業建設部会

〔視察期間〕平成30年7月24日-26日

01 鳥根県出雲市「林業3F事業について」

視察概要

- ・事業設立の経緯と背景及び概要
- ・地域材の産地地消促進の取組
- ・森林整備、林業促進の連携事業
- ・地域材製材工場との地域材供給の連携
- ・成果と今後の課題

参考と なった点

出雲市、出雲地区森林組合、木材協会出雲支部で構成されている運営協議会が、森林整備・地元産木材の利用促進を支援する為に、林業の川上・川中・川下・連携普及の4事業に別れキメ細やかなサポートをしながら林業の活性化に取り組んでいる。
また、3年ごとに事業の見直しを行い、その時勢にあった事業を展開できるようにしている。



産業建設部会員

02 鳥取県境港市「水木しげるロードによる中心市街地の活性化について」

視察概要

- ・水木しげるロードの経緯と背景及び概要
- ・水木しげるロードを活かした中心市街地の活性化の取組み
- ・水木しげるロードを活かした観光客誘致の取組
- ・成果と今後の課題

参考と なった点

平成元年から「緑と文化のまちづくり」をテーマにJR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通り、水木しげる氏が描く妖怪のオブジェ・モニュメント・絵タイルを歩道に設置し、人々に優しく、親しまれる快適な道作りをはじめた。また、平成30年7月にリニューアル事業として177体の妖怪ブロンズ像を完成させ、にぎわいの継続、中心市街地の活性化に取り組んでいる。



鬼太郎列車（堺港市）

03 大阪府大阪市「水辺空間を活かしたまちづくりの取組について」

視察概要

- ・水都大阪の取組の経緯と背景及び概要
- ・水辺の魅力向上・空間利用の事例
- ・水辺空間を活かした賑わいづくりの取組
- ・国、大阪府、民間との連携
- ・成果と今後の課題

参考と なった点

2つの組織から「水都大阪」の提案を受けて、道頓堀川沿いの遊歩道整備がはじまり、みなみの中心部に憩いの場が創られ、水辺に顔を向ける川沿いの店舗が増えてきた。こうした取組から、町の特徴を活かし、観光客が、水辺で飲食、イベント、景観等を年間通して楽しむ、クルージング船でめぐる事が出来る「水都大阪」を創出することができた。

豊田市議会自民クラブ議員団
広報委員会
発行日 2019年1月1日
www.toyota-jimin.jp



住む人が主役の
政治を目指して…



ギネス世界記録に挑戦



議員研修



管外研修



管内研修



市議会報告会

理念

私たち豊田市議会自民クラブ議員団は、住む人が主役の政治を推進する政策集団として、地域の歴史と伝統を大切にしながら、全ての社会行動の原点である家族が幸せに暮らしている潤いと安らぎのある豊かな豊田市を創ることに邁進する。

政策大綱

- 1 地域住民の目線に立ったまちづくり
- 2 安全・安心のまちづくり
- 3 次世代の確かな育成
- 4 都市部と農山村地域の共生
- 5 快適居住のまちづくり
- 6 活力ある産業都市
- 7 自立できる自治体の確立

自民クラブだより

vol.10

豊田市議会自民クラブ 議員紹介

総勢26名 ①住所 ②所属部会

/// 豊田市議会 自民クラブだより ///

四役会

会長 三江 弘海 みえ ひろみ [4期] ① 武節町 ② 企画総務	幹事長 山田 主成 やまだ しゆせい [2期] ① 西中山町 ② 産業建設
総務会長 板垣 清志 いたがき きよし [2期] ① 松平志賀町 ② 教育社会	政務調査会長 木本文也 きもと ふみや [2期] ① 青木町 ② 環境福祉

松井 正衛 まつい せいえ [5期] ① 保見ヶ丘 ② 環境福祉	梅村 憲夫 うめむら のりお [4期] ① 吉原町 ② 教育社会	杉浦 弘高 すぎうら ひろたか [4期] ① 四郷町 ② 産業建設
都築 繁雄 つつき しげお [4期] ① 榊塚東町 ② 地域生活	近藤 光良 こんどう みつよし [4期] ① 西岡町 ② 企画総務	日恵野 雅俊 ひえの まさとし [4期] ① 西町 ② 環境福祉
神谷 和利 かみや かずとし [4期] ① 柿本町 ② 産業建設	鈴木 章 すずき あきら [4期] ① 足助町 ② 産業建設	太田 博康 おおた ひろやす [4期] ① 若林西町 ② 教育社会
牛田 朝見 うした あさみ [3期] ① 下仁木町 ② 地域生活	加藤 和男 かとう かずお [3期] ① 樹木町 ② 産業建設	清水 郁夫 しみず いくお [3期] ① 上郷町 ② 教育社会
山口 光岳 やまぐち こうたく [2期] ① 羽布町 ② 企画総務	深津 眞一 ふかつ しんいち [2期] ① 渡刈町 ② 地域生活	羽根田 利明 はねだ としあき [2期] ① 加納町 ② 環境福祉
窪谷 文克 くぼや ふみかつ [1期] ① 永覚新町 ② 企画総務	北川 敏崇 きたがわ としたか [1期] ① 明和町 ② 教育社会	杉本 寛文 すぎもと ひろふみ [1期] ① 本町 ② 企画総務
浅井 保孝 あさい やすたか [1期] ① 宮上町 ② 環境福祉	岩田 淳 いわた じゅん [1期] ① 上野町 ② 産業建設	水野 博史 みずの ひろふみ [1期] ① 野見山町 ② 産業建設
宮本 剛志 みやもと つよし [1期] ① 浄水町 ② 地域生活		

自民クラブ議員団では、5つの部会にわかれ、先進地の取組を調査・研究し、豊田市政に反映しています。

地域生活部会

[視察期間] 平成30年7月25日-27日

01 北海道函館市「函館市地域防災計画について」

視察概要 ・策定した経緯と背景
・計画の概要

参考となった点 函館市は、過去に重大な災害が少ないが、避難所運営の混乱を予防して共同生活を営むうえでの基本的ルールや運営方法など、関係者の理解を深めるマニュアルを整備して、地域と共働の対策を活用推進し効果的な運用を見据えている。



地域生活部会員

02 北海道江別市「水道施設及び管路の耐震化について」 「水道局の災害時等の危機管理体制について」

視察概要 ・耐震化の状況及び概要 ・耐震化を進める上での課題
・危機管理体制の現状と課題

参考となった点 施設管路の計画的な更新や耐震化等の水道整備事業を推進し、災害時の危機管理体制のマニュアルや応急復旧給水目標設定を作成し、地域と連携して危機管理対策の強化を推進している。



地域防災計画(函館市)

03 北海道札幌市「ICTを活用した消防と医療の連携強化について」

視察概要 ・救急車へのタブレット端末導入に至る経緯と背景
・タブレット端末を活用した多言語対応の概要 ・タブレット端末の運用状況と課題

参考となった点 外国人観光客の急増により開発された救急隊用多言語音声翻訳アプリを先行導入し、救命体制の充実や消防対応力の充実強化に取り組んでいる。また、札幌市ICT活用戦略策定による時代変化への対応、課題解決に向けた各種先端手法の導入により大きな成果に繋がっている。

教育社会部会

[視察期間] 平成30年7月17日-18日

01 兵庫県三田市「ひとり親家庭の支援について」

視察概要 ・ひとり親相談窓口強化事業等支援体制の概要
・取組の経緯と支援の状況
・取組の課題や今後の展開

参考となった点 ひとり親家庭への主な支援として、児童扶養手当と就労支援を行っており、母子生活支援施設への入所措置については、母子自立支援員や相談員が家族との連携のもと、全面的にサポートを行っている。また、就労支援では国による相談窓口強化事業を活用し、就業支援専門員を配置して、ハローワークと連携した支援を行っている。また、様々な就労支援に関する事業についての情報を、ひとり親家庭に啓発するなどの取組も行っている。



教育社会部会員

02 熊本県南関町「南関町スポーツコミッションの取組について」

視察概要 ・取組の経緯と背景
・取組の概要と特徴
・取組の効果と課題及び今後の展開

参考となった点 スポーツコミッション実行委員会の構成が、産官学民で協働事業を展開する過疎地域に新たな人々を呼び込める団体である。これからの活動はスポーツを通じた地方創生の一歩であり、大学が関わることで大学生の新しい提案や地域住民との関わりを加速させるものと考えている。また、吉本興業とのコラボ事業を行うなど、スポーツ未実施者の獲得及び民間企業のノウハウや新たな取組を行っている。



ひとり親相談窓口(三田市)

企画総務部会

[視察期間] 平成30年7月17日-19日

01 福島県福島市「立地適正化計画について」

視察概要 ・計画の基本的な方向性 ・上位計画との整合性
・都市機能誘導区域の指定 ・居住誘導区域の考え方

参考となった点 福島市は、現状の市街地形成がおおむね国が示す居住誘導区域の要件に当てはまるため、現行の都市マスタープランを大きく変更する必要がないとのことであり、この点は本市も同様である。また、公共交通において、平成27年度から75歳以上の無料化を実施していることは、高齢者の移動手段の確保について検討していくうえでの参考となった。



企画総務部会員

02 栃木県宇都宮市「行政改革の取組について」

視察概要 ・第5次行政改革大綱の概要 ・4つの「改革の柱」の進捗状況
・推進体制 ・職員の時間外勤務の削減

参考となった点 宇都宮市の行政改革の方向性は、本市と基本的におおむね同じだと感じた。市民に直接かかわるような行政改革についての、議会及び市民への理解を得るために、多くの時間を費やし努力している点は参考になった。



中山間地域総合振興計画(静岡市)

03 静岡県静岡市「中山間地域総合振興計画について」

視察概要 ・中山間地域の現状と課題 ・計画の基本方針
・計画の各施策の概要 ・これまでの成果と課題

参考となった点 静岡市は、昭和の合併時から市域の8割が中山間地ということで、そのため、早くから中山間地の課題に対する専属の部門を組織し、多くの施策に取り組んできた。また、住民意識の高い地区では、住民と市の協働による事業が展開されている。